

～ 血球検査について ～

○赤血球数(RBC:Red Blood Cell)

赤血球は細胞内にヘモグロビンを有し、酸素を体中の組織に運搬します。
赤血球は貧血では減少し、多血症では増加します。

○血色素量(Hb:Hemoglobin)

ヘモグロビンは赤血球の中にある鉄と結合した蛋白質のことで、肺から全身へと酸素を運搬する役割を担っています。
ヘモグロビン量は貧血では減少し、多血症では増加します。

○ヘマトクリット値(Ht:Hematocrit)

血液中に占める血球の容積の割合を示す数値です。
貧血では低値になり、多血症では高値になります。



○MCV(平均赤血球容積)

赤血球1個あたりの容積の平均値を表します。

○MCH(平均赤血球ヘモグロビン量)

血球1個あたりに含まれるヘモグロビン量の平均値を表します。

○MCHC(平均赤血球ヘモグロビン濃度)

赤血球1個あたりに含まれるヘモグロビンの濃度を表します。

○血小板(Plt:Platelet)

血小板は血管の損傷に反応して出血を止める働きを有しています。
そのため、減少すると出血しやすくなります。また、増加すると血栓ができやすくなります。

○白血球数(WBC:White Blood Cell)

身体への異物の侵入に対しかからだを守る働きを有しています。

細菌等の感染症に罹患すると血液中の白血球数が増加します。